

ランドスケープ賞の受賞へと導いた持続可能な解決策

コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャーがランドスケープデザインを行った米国アリゾナ州エイボンデールのエストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジにあるエストレラ・ホールは、成功したランドスケープデザインと呼べるものであるが、それは、クライアントの要件、敷地の仕様、創造性、付加価値、予算、締め切りなどの延々と続くリスト……について考慮がなされた結果である。とはいえ、暑い砂漠の気候で—— 周辺地域の歴史的価値観や文化的価値観を表現しつつ、持続可能なプロジェクトとしてカレッジの学生にとって有意義で魅力的な学習環境を創るということを目的としたら、物事はとたんに複雑になり始めた。

エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール

キャンパスの拡張

エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジは、2013年に新しいエストレラ・ホール図書館と会議センターの建設を終えた。プロジェクト全体は、2つの建物の持続可能性とその周囲の景観が中心となっている。このキャンパス拡張プロジェクトは、そこに関連付けられた庭という空間をシリーズとして継続することによってキャンパスの構成を強化し、それらがキャンパスを形作る基本的な一片となるように設計されている。



エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャーは、プロジェクトごとに文化的、生態学的な要件を満たすだけでなく、クライアントの要望に応えた活気あふれるユニークな環境を創り出すランドスケープアーキテクチャースタジオで、フェニックスを拠点として活動している。このプロジェクトでは、建築とランドスケープデザインとの関係で異なるアプローチを使用するリチャード+バウアーアーキテクチャースタジオと提携した。建物のコンセプトデザインは、周辺の庭を背景として使用する中央ベースのパビリオンであった。



エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供:コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

暑い気候の解決策

プロジェクトというものがすべてキーワードを持っているとすれば、エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのそれは間違いなく持続可能性である。植栽については、アリゾナ州の熱い砂漠が、灌水を補完するパッシブな水の使用に基づいた低水使用の植物を用いるという解決策を導き出す制約要因となった。土地の構成は、より親密な領域のためのセパレータとして、集水・運搬用の高地から低地への水の移動を支援している。



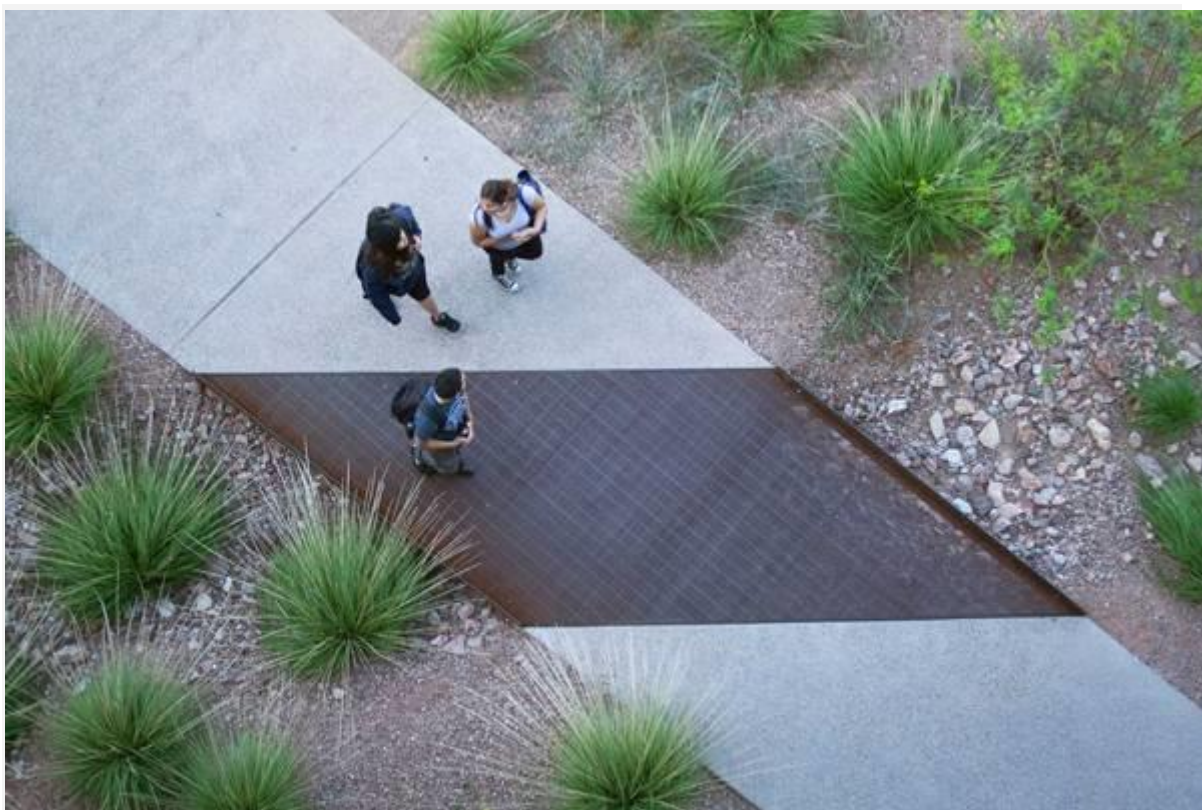
エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー



エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

屋根に降った雨は、いくつかある自然の貯水槽に集めて貯められ、一連の水路と小川を通ることで制御された水量を放出する。コルウェル・シーラーは、水をあまり必要としないこの地の気候に適した植栽とドリップ灌水で構成される低メンテナンスなランドスケープ設計解決策を採用した。セルシジウム・プラエコクス（*Parkinsonia praecox*：ジャッケイバラの仲間）やメスキート・プロソピス（*Mesquite Prosopis*）のハイブリッド（交雑種）に剪定が必要なことを除けば、それ以外のほとんどすべての植物がメンテナンスを必要としない。

図書館のほの暗いファサードは、建物に影を落とす黄色のつる性の蘭（*Mascagnia macropterata*）がコントラストを見せるよう恒久的なトレリスを提供する。パロブランコアカシア（*Acacia willardianais*）などが建物の入口を強調するために使用された。植物は日向の場所に影を落としたり、空間と空間を分けたり、この敷地を完全に経験するために人々に発見されなければならない場所をあえて隠しておくなどの創造的な方法で使用されている。



エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール

写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

庭を経験する一環として、パビリオンの隣に配置するように設計された屋外のブレイクアウト領域は、個々の研究や共同作業を行う時に座るといった経験を幅広く提供している。壮大な芝生は中央に配置され、卒業式の舞台や日々の懇親スペースとして使用される。この空間はまた、非公式な遊びや屋外映画、フェスティバル、グループエクササイズのようなより大きなイベントにも適している。雨水はこうした景観の間を流れて集められ輸送されるが、芝生の灌水を補うために使われる。



上 2 点とも、エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジは、地域全域の持続可能性に対する環境的な取り組みと貢献が認められ、2014年のアリゾナフォワード環境優秀賞の公共部門のカテゴリで敷地開発と景観のためのCrescordia賞を受賞した。このプロジェクトは、地域社会のために有意義で魅力的な環境を作成する持続可能な解決策の実装と、そのための微気候に対する理解についても高く評価された。



エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホール
写真提供: コルウェル・シーラーランドスケープアーキテクチャー

エストレラ・マウンテン・コミュニティ・カレッジのエストレラ・ホールの完全なプロジェクトクレジット:

プロジェクト名: Estrella Hall at Estrella Mountain Community College

場所: Estrella Mountain Community College, Avondale, AZ 85392

デザイン会社: Colwell Shelor Landscape Architecture
クライアント: Maricopa County Community College District
建築家: Richard + Bauer, Phoenix, AZ
施工者: Okland Construction, Phoenix, AZ
竣工: 2013 年
受賞: Crescordia Award for campus landscape